

「やさしい運転」の推進で、環境負荷軽減と安全な交通社会の実現に貢献

地球環境と社会に対する影響を最小限に抑えた事業活動を行うことは、企業の重要な責務です。エコドライブ活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献しています。

環境と社会に配慮することは企業の重要な責務

企業は事業活動を行う中で、地球環境や社会に対してさまざまな影響を与えています。車両を使った事業活動もその一つで、交通事故の発生や燃料の浪費、CO2排出などのリスク低減に努めることは、企業と社会の持続的発展を実現する上で重要な責務の一つであると認識しています。そのためキヤノンMJグループでは、車・人・地球に配慮した運転を「やさしい運転」と呼び、グループ全社で推進しています。

カーシェアリング制度の導入で減車を実現

地球環境と安全な交通社会の実現に貢献するため、キヤノンMJグループは、2009年に社内カーシェアリング制度を導入しました。それまで部門ごとに所有していた営業車を総務の一括管理に変更し、稼働率の適正化を推進。2008年末時点で733台あった営業車は、2014年末時点で469台まで減車を実現しました。



社内カーシェアリング

地球と社会に「やさしい運転」をグループ全社に啓発

さらに、燃費や危険な挙動などの車両の走行データが取得できるシステムを導入し、速度超過や急発進・急減速のない安全で環境にやさしい運転をグループ全社で啓蒙しています。毎年4月と10月は強化月間として「やさしい運転キャンペーン」を実施し、地域ごとに優秀ドライバーを表彰することで社員が自らすすんでやさしい運転を心がけるよう、モチベーションの向上にも努めています。また、車両も燃費効率のよいエコカータイプへの切り替えを進めており、2014年6月末時点でハイブリッドカーは24%（営業車のみ）、コンパクトカーは同57%に増加、2010年には電気自動車も導入しました。こうした取り組みの結果、年間ガソリン使用量は、2013年時点で2009年に比べて25.2%削減、事故件数は取り組み前の2008年に比べて61.5%減少、違反発生件数は同52.1%減少、自動車の維持・管理費は、同35.7%削減できました。これからも社員一人ひとりが地球と社会にやさしい運転に取り組むことで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



運転挙動の推移

CSR情報

- [キヤノンMJグループのCSR活動ページへ](#)

お問い合わせ

- [キヤノンMJグループのCSRに関するお問い合わせはこちら](#)

● [これまでの取り組み一覧へ](#)

● [Business with CSR トップへ](#)